

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 324 回 研究会

日 時 平成 30 年 6 月 20 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分

場 所 奈良中央信用金庫 3 階 ホール

講 師 ならちゅうしん経営研究会 第 5 代目会長
薬王製薬 株式会社
代表取締役 市川 重則 氏

テーマ 私の履歴書
～薬王製薬に入社して～
～ならちゅうしん経営研究会に入ったこと～

今回の研究会は、当ならちゅうしん経営研究会第 5 代目会長（平成 17 年 7 月～平成 23 年 7 月）で現在は当会の顧問を務めて頂いております薬王製薬株式会社代表取締役市川重則氏より、ご講演を頂きました。

薬王製薬株式会社は、明治 20 年「薬」発祥の地といわれる奈良で家庭薬の製造事業者として創業され、今年で 131 年目を数える歴史のある製薬会社です。“笑顔で健やかな毎日のために” 伝統処方を守りながら新しいものを取り入れた独自性に満ちた製品開発に取り組まれています。

ご講演は、「私の履歴書」と題してお話を頂きました。当社は明治時代に創業されてより配置薬の製造販売を続けてこられました。しかし市川社長が会社に入られた昭和 63 年当時から、訪問販売という事業形態が時代に合わなくなり衰退していった時代でした。そのような状況のなか、市川社長は製薬のことや会社の経営のことなど、判らない状態で会社に入られました。

そんな市川社長でしたが、ならちゅうしん経営研究会に入会されて、多くの異業種交流や、歴代の会長さんや先輩経営者から色々なことを教えて頂き経営者として成長することが出来たとお話でした。また市川社長が会長を務められた 6 年間には、「健康創造倶楽部」という共同事業を立ち上げられ、当会の活性化に尽力されました。

ご講演の中頃は製薬業界の動向について、お話を頂きました。新薬の開発に莫大な研究開発費用がかかるため、M&A などによる再編、大規模化が進んでいる新薬メーカーの現状、インバウンド需要によりホクホクの家庭薬メーカーとドラッグストア業界、奈良県に

よる漢方メッカプロジェクト、新製品開発と厳しくなる行政への対応など、業界の裏話も織り交ぜてご説明頂きました。

当社の今後の展開として、奈良県主催の「T・E・I・B・A・N」事業に参画し、新規ブランド『YAQUO WARMS LABO』を立ち上げられたこと、このブランドは温めるという名前の通り、体を温める商品を開発し、将来は自社店舗の運営、小売店舗で一つの棚を確保出来るくらいのブランドに育てて行きたいとのお話でした。

最後に従業員教育についてお話を頂きました。当社では長年に亘り奈良県中小企業診断士会の先生を講師に招いて、年間 10 回小集団活動として 5S をはじめ社員教育に取り組まれています。また男性従業員 1 に対して女性従業員 2 の割合で、女性従業員比率が高いのが特徴であるとのことと積極的に女性を正社員、管理職に登用され活用されているとのことでした。

ご講演のあとも製薬業界のこと、健康食品のことなど、参加者より多数の質問が寄せられました。当社に入られて 30 年、伝統を守りながらも新しいものを取り入れ、会社を大きく成長させて来られた市川社長のご講演は大変参考になりました。市川社長ありがとうございました。

以 上

